



アマリタ・ニケータン アンマの孤児院

(ケーララ州コッラム、パーリパツリ)

1989年、アンマは破産した孤児院と学校の運営を引き継いでほしいと依頼されました。子供たちは悲惨な状態で、世話を受けられないまま栄養状態も悪化しており、建物は不衛生で荒廃していました。アシュラムはただちに子供たちのケアを開始し、孤児院の建物を再建し、学校を再開しました。今日アマリタ・ニケータンには500人の子供がいますが、そのうちの半数は、貧しい少数民族のコミュニティから来ています。栄養豊かな食事と愛情溢れる世話、そして、献身的なスタッフの励ましを受けて、子供たちは自信をつけ新しい人生の出発点に立つ力を得ています。

学校が休みになると、多くの子供たちがアンマのアシュラムを訪れ、日常の活動に加わります。こうしてアンマと永く続く強い絆を培った子供たちは、アンマが本当のお母さんのように感じられる、と言っています。



子供たちといっしょに民族舞踊を踊るアンマ

恵まれない 子供たちの養育



アマリタ・ニケータンの子供達は、音楽、スポーツ、舞踏に秀でています。ケーララ州の伝統的寺院音楽であるパンチャヴァディヤムについての彼らの才能は、地域でよく知られています。パンチャヴァディヤムは普通少年だけに教えられる芸術形式ですが、孤児院では少女もこの芸術形式の習得を奨励されています。子供達はヴァーナ、タブラといった楽器とともに、クーディヤットム、プーラッカリ、コルカリなどの伝統舞踏劇も学びます。地域のコンペティションで、子供たちはよく最優秀賞を獲得します。

子供たちは孤児院に隣接しているアマリタ・サンスクリット語小中高校に通学します。35%以上の孤児たちは高卒後さらに進学し、教育費はM.A.マートが負担します。

アマリタ・サンスクリット語・小中高校



アマリタ・ニケータンの子供たちは、施設の隣りにあるアマリタ・サンスクリット語小中高校に進学します。2,300人の生徒を抱えるこの学校は、インドの文化的伝統を伝える言葉であるサンスクリット語を教える学校としては、ケーララ州最大です。学校の文化祭の時期になると、子供たちは行事の主催者として重要な役割を果たし、舞踏や音楽など芸術的分野の才能を存分に発揮します。当校はアマリタ大学との衛星通信を用いた村落のための情報センターを開設しました。これにより大学各キャンパスの講師によるビデオ会議形式の講義が受けられます。時間は学校の授業後と日曜日で、学生、教師、一般人にも幅広く利用されています。